



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 三 木 敏 裕
幹 事 尾 崎 敬 則 会 報 委 員 長 村 上 泰 啓

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2076
2012-2-3

事務所 (株)近鉄百貨店 上本町店 10階
〒543-8543 大阪市天王寺区上本町6-1-55
TEL(06)6771-9009 FAX(06)6772-9090
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

Reach Within to Embrace Humanity

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー

本日の例会

2月3日(第1例会)

- 表彰・ホームクラブ連続皆出席
光信(10) 岡倉(10) 山口(490)
永井(20) 福本(10) 原田(10)
村上(武)(10) 各会員

- お祝・誕生日
畑田 今岡 岩永 永井 佐々木
鈴木 山本(康) 各会員
- ・結婚記念日
三木 西村 佐伯 各会員

- 卓話 「最近の介護事情と課題」
日本の高齢人口が世界で類を見ない早さで進む中、生野区・東成区にあっても例外ではなく、早急に国の対策と高齢者を取り巻くネット整備が不可欠である。

大阪市・兵庫県・神戸市
認知症介護研修講師 松原宏樹氏
(今岡 巖会員担当)

- 理事会 11:30 ~ 12:10
シェラトン都ホテル大阪 5階 カトレアの間

- 酒味の会 18:00 ~
シェラトン都ホテル大阪 3階
日本料理「うえまち」

次週のお知らせ

2月10日(第2例会)

- 卓話 「アメリカ留学を振り返って」
2009~2010年度のロータリー国際親善奨学生として、米カリフォルニア州モンレー国際大学大学院の修士課程に留学し政治学を学んだ経験を中心に話を展開

2009~2010年度
R財団国際親善奨学生 佐々木葉月氏
(永田藤夫国際奉仕委員長)

- クラブフォーラム(国際奉仕) 13:40 ~ 15:30
シェラトン都ホテル大阪 3階 春日の間

- 次年度理事会 11:30~12:10
シェラトン都ホテル大阪 3階 クローク横

- 食膳 <フランス 肉料理>

次々週のお知らせ

2月17日(第3例会)

- ガバナー講話
岡部泰鑑ガバナー

先週のお記録

1月27日(第4例会)

- 出席報告 出席会員 41名 (内免除会員 8名)
会員総数 53名 (同上 15名)
ゲスト 1名
ヴィジター 2名
計 44名
ホームクラブ出席率 87.23%

1月6日(第1例会) 補正出席率 98.04% (MU6名)

- ゲスト&ヴィジター (敬称略)
小島康秀 (ガバナー補佐)
上田 豊 (大阪南)
富 道雄 (大阪リバーサイド)

◆ 会長の時間 ◆

本日は小島ガバナー補佐にお越しいただいております。
例会終了後に、岡部ガバナーの公式訪問に向けてのクラブ協議会に出席していただく予定です。

ぜひとも入会3年未満の会員は出席し、会議を傍聴してください。

クラブ運営の問題点について、いろいろと議論をいたしますので、ぜひとも傍聴あるいは発言してください。

本日は、ロータリーの「追悼記念週間(1月27日を含む週間)」となっております。奇しくも1947年1月27日は、ロータリーの創始者・ポール・ハリスの命日です。1989年10月~11月のRI理事会において、毎年この1月27日を含む1週間を物故ロータリアンの冥福を祈り、生前の貢献を記念する週間として「追悼記念週間」と指定いたしました。

過去には、当クラブにおいても多くのロータリアンが在籍され、ある時をもって退会、あるいは逝去されました。皆様方は、当クラブのロータリー活動において、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕が活発にされていると感じておられますが、これは先人たちの血の滲むような努力の積み重ねの結果であり、またそれ

2月は世界理解月間です!!

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

によって得られた世間様から戴いているロータリーに対する良い評価を私たちは忘れるわけには参りません。先人たちの意思を受け継いで、私たちが、クラブを維持、発展させなければ、先人のクラブに対する想いが無駄になると思います。

◆ 幹事報告 ◆

(代理副幹事)

IR第2660地区米山奨学生ふれあいスピーチコンテストが、来る2月18日(土)午後2時から、大阪国際交流センター2階さくらの間(東)で開催されます。これは米山奨学生が、日本での日常生活で感じたことや学習の成果を発表することと、各クラブメンバーと米山奨学生との交流を具体的に発表していただくことを目的としています。当クラブのタイ・ジャコ・アンナさんも発表されます。応援の意味でご参加いただきたい。申込みを回覧させていただきますので、宜しく願い申し上げます。

◆ 小島康秀ガバナー補佐挨拶 ◆

皆さんこんにちは。去年は復興支援に明け暮れた1年でしたが、年が明けて北の地方では吹雪で大変お困りのようです。ロータリーの活動も、どうされているのか心配です。大阪はその点有難いと思います。そのかわり、大阪では橋本維新旋風が吹き荒れまして、大阪の景気の低迷を橋本さんのスピーディーな馬力で改革を進めてもらうのもいいように思います。わが大阪帝塚山RCの片山一步会員が、住之江区で大阪維新の会から市議に立候補し、無事当選しました。その節には、岡部ガバナーにも応援に来ていただきまして、どうも有難うございました。

大阪城南RCにおかれましては、岡部ガバナーの任期の半分を終えられ、クラブ訪問もほぼ終わられたと思います。また、地区大会という大きな行事も済まされ、一息つかれていると思いますが、まだ半年ありますので、地区幹事の皆様には大変かと思いますが、宜しく願い致します。

今年度の後半、岡部ガバナー肝煎りの大阪アーバンRCが誕生し、チャーターナイトが控えております。また、同じIM8組に配属になりました。このクラブは新しい方式で親クラブがありません。親がないのでみなしご、IM8組で「みなしごハッチ」と呼ばれますが、みなしごが立派に成長できますよう。IM8組のすべてのクラブが里親のつもりでしっかり育てあげたいと思いますので、ご協力のほど、宜しく願い致します。本日はこの後、クラブ協議会がありますので宜しく願い致します。

卓話

1月27日 <第4例会>

「日本のホテル産業の足跡Ⅱ」

市谷 敏会員

産業としての発展期(1959~1990)

昭和34年(1959)年、国際オリンピック委員会は1964

年度オリンピック開催地を東京に決定。戦後の本格的な経済成長が進む中、この決定は本邦ホテル業界の画期的な発展の契機となりました。又、オリンピック開催は国威発揚に留まらず実態経済に大きなインパクトを与えました。東海道新幹線・東名高速道路の開通は1964年のことで、大都市間の時間距離の短縮や道路網の整備はホテル産業に大きくプラスに作用したのです。

皆様ご存じの大手ホテルは殆どこの時期に開業しています。明治・大正時期の一部特権・富裕層対象のホテルもその高踏的気分を一部残しつつも人口に膾炙するようになり、近代産業の一つとして羽ばたくことになりました。爾後、約25年に亘り多くのホテルは国民所得の伸びに比例して営業収入を毎年伸ばすことが出来たのです。

外資系オペレーターの侵攻(1991~1999)

1990年を過ぎた頃、景気循環説に従うかのように日本経済は衰退し始めました。ホテル業界も対前年営業収入がマイナスとなり営業利益も減益という事態が現れ始めたのです。

ところが、この頃相次いで開業し始めた外資系運営会社のホテルは事情が異なっていました。彼らは国内系ホテルが不況で呻吟するのをしり目に快進撃を始めたのです。

何がどうなったのでしょうか。日本のホテル経営者達が頭を抱えこむ中、多くの中堅・若手従業員は外資系に引き抜かれていきました。

この頃の国内系ホテル経営者の課題は①今や過大となった借入金利息 ②収入の低下 ③優秀な従業員の減少、等の難題でした。80年代までの長期経済成長が永遠の成長幻想を生み、結果、設備投資を増大・続行させ、海外旅行者の増加がホテル顧客の嗜好の変化をもたらし、有能で上昇志向のあるホテル従業員は日本の雇用慣習に閉塞感を持っていたこと、等がそれぞれの原因となっていたのですが、それらの解決にその後、凡そ10年を費やすことになるのです。

にこにこ箱

1月27日(第4例会)

・小島康秀ガバナー補佐をお迎えして、会員一同心から歓迎申し上げます。

三木会員、尾崎(敬)会員

・小島ガバナー補佐の来訪を感謝。 岡部(泰)会員
・小島ガバナー補佐にはようこそ城南へ。前年度よりいろいろお世話になっております。

佐伯会員

・本日は皆様の貴重な時間を頂き卓話をさせていただきます。

市谷会員

・小島ガバナー補佐をお迎えして。

上会員

・早退おわび 1件

(編集担当 山本(康))

会員増強にご協力を!!